

# NHP210-300S/600D

膜分離活性汚泥法（MBR）用 浸漬膜モジュール

東レのMBR用膜モジュールNHP210シリーズは従来のTMR140シリーズの優れた膜性能を引き継ぎ、さらに膜充填率を50%増加させました。膜充填率を増加させたことにより、散気量を削減でき、消費電力が低減できます。

平膜エレメント		単位
型式		TSP-50080
公称孔径	μm	0.08
材質	膜	PVDFおよびPET不織布
	ノズル	PE
有効膜面積	m <sup>2</sup>	0.7
寸法（全幅 × 全高 × 厚さ）	mm	477 × 800 × 2
重量（乾燥時 / 湿潤時）	kg	0.25 / 0.5



図: NHP210-300S

## モジュール

型式	エレメント 装填数 (枚)	カセット構造	膜面積 m <sup>2</sup>	外形寸法 (幅×長さ×高さ) mm
ECS035 (カセット)	50	—	35	485 × 440 × 818 <sup>(1)</sup>
NHP210-300S	300	(3列2段) × 1個	210	微細タイプ: 763 × 1,702 × 2,175 粗泡タイプ: 763 × 1,635 × 2,175
NHP210-600D	600	(3列2段) × 2個	420	微細タイプ: 763 × 1,702 × 3,845 粗泡タイプ: 763 × 1,635 × 3,845

(1) 集水管を除いた寸法

重量 (乾燥時) kg	エアレーション ブロック	カセット / エレメントブロック	モジュール
ECS035 (カセット)	—	18	—
NHP210-300S	微細タイプ: 55 粗泡タイプ: 40	200	微細タイプ: 255 粗泡タイプ: 240
NHP210-600D	微細タイプ: 55 粗泡タイプ: 40	400	微細タイプ: 455 粗泡タイプ: 440

## 用途

下水処理・工場等での廃水処理・中水再利用などの幅広い用途にご使用頂けます。

# NHP210-300S/600D

膜分離活性汚泥法（MBR）用 浸漬膜モジュール

散気量 <sup>(1)</sup>	NL/分/モジュール <sup>(2)</sup>
NHP210-300S	1,000～1,300 (標準1,300) <sup>(3)</sup>
NHP210-600D	1,000～1,300 (標準1,300) <sup>(3)</sup>

(1) ブロワなどの空気供給装置は標準運転条件下で設計して下さい

(2) 0℃、101.325 kPa (1 atm)での空気量

(3) 粗泡タイプの場合、上限2,000NL/分/モジュール

運転条件	
水温	5～40 °C
pH	5～10
最大MLSS濃度	18,000 mg/L
膜間差圧	薬液洗浄：同一流量において初期安定圧力より 5 kPa 上昇するまでに実施 最大許容：20 kPa 以下
薬品洗浄時供給圧力	10 kPa 以下
洗浄薬品および濃度	次亜塩素酸ナトリウム：2,000～6,000 mg/L (10 < pH < 12) シュウ酸：0.5～1.0 wt% / クエン酸：1.0～3.0 wt%

材質	
フレーム	304SS (316SSはオプション)
集水管	PP
散気管	微細タイプ：EPDM/PVC/SUS 粗泡タイプ：PP

配管接続	
集水管	ANSI 1 1/2 インチ フランジ (カセット1段あたり1ヶ所)
散気管	微細タイプ：NPT 1 1/2インチ ねじ込み (両端2カ所) 粗泡タイプ：ANSI 1 1/2インチ フランジ (片端2カ所)

\* 詳細については弊社までお問合せください。

東レ株式会社  
〒103-8666 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー  
メンブレン事業第3部

☎ 03-3245-4539    ✉ お問い合わせ

 LinkedIn     YouTube

water.toray

東レは、本情報の適用から得られる結果、あるいは他社製品と併用した場合の東レ製品の安全性または、適合性についてなんら責任を負うものではありません。お客様の使用目的に対し、本製品の安全性および適合性を判断するために、お客様自身でテストされることをおすすめします。

本データはすべて、技術的修正もしくは製品の変更によって、予告なく変更されることがあります。